

出典：裁判所ホームページ（<https://www.courts.go.jp>）の裁判例情報をもとに作成

事件番号	昭和 39(オ)1002	原審裁判所名	大阪高等裁判所
事件名	コンクリート並びに土管撤去請求	原審事件番号	昭和 35(ネ)674
裁判年月日	昭和 41 年 9 月 22 日	原審裁判年月日	昭和 39 年 5 月 30 日
法廷名	最高裁判所第一小法廷		
裁判種別	判決		
結果	棄却		
判例集等	集民 第 84 号 439 頁		

判示事項	権利濫用にあたる一事例
裁判要旨	町が私道に設置した排水用土管の撤去を求める私道所有者の請求は、同人になんらの利益をもたらさない場合には、権利の濫用として許されない。

全文	
主 文	本件上告を棄却する。 上告費用は上告人の負担とする。
理 由	上告代理人中山福蔵、同高橋義次、同大塚仲の上告理由第一点について。 所論の点に関する原審の事実認定は、挙示の証拠関係に照らし是認でき、その間所論の違法は認められない。論旨は、ひつきよう原審の裁量に属する証拠の取捨判断、事案の認定を非難するに帰し、採るを得ない。 同第二点について。 <u>原審の適法に確定した事実関係の下においては、本件乙道路における工事の撤去を求める上告人の請求は権利の乱用であつて許されない旨の原判示は結論において正当と認められる。</u> 論旨は、右原審の判断を非難し、または原判示に副わない主張を前提とし、原判決の違法をいうものであつて、採るを得ない。 よつて、民訴法四〇一条、九五条、八九条に従い、裁判官全員の一致で、主文のとおり判決する。 (裁判長裁判官 入江俊郎 裁判官 長部謹吾 裁判官 松田二郎 裁判官 岩田誠)

※参考：判例タイムズ 198 号 131 頁、判例時報 460 号 51 頁、不動産取引の紛争と裁判例〈増補版〉RETIO413 頁